

---

# 殺伐ホームブルース（仮題

ごはんライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

殺伐ホームブルース（仮題）

### 【Nコード】

N0378Z

### 【作者名】

ごほんライス

### 【あらすじ】

1000字設定。1000字ぴったりとなっています。

星啓一は、会社で役員をしていた。啓一の趣味は音楽である。特に、西サマнда共和国のミュージシャン、マンゴリ・ゴンガーが好きで、よくコピーをする。ベースもギターもドラムスもキーボードもやる。かなり上手い。ただ人前で演奏するのが苦手なので、宅録してる。作詞作曲もする。マンゴリの影響は大きい。

例えば、啓一が書いた「豆腐をぶつけるな、たけし」は、マンゴリのアルバム「ボツコリ・ベベンバー（訳：狂った納豆）」の三曲目「パイパイ・ドロツトントン・ゴゴゴ（訳：豆腐なんて、もういらない）」に似てる。この曲は、マンゴリが解放的な気分になるために全裸で録音したと言われているが、啓一も踏襲し、全裸で録音した。コード進行も微妙に似てる。楽器も、同じ。両方ともドラムスとボーカルのみである。妻の美津子はパンツくらいはいてよねと思っていた。激しいドラミングだったのでちんちんがすごく揺れた。妻は、興奮した。

啓一の息子、克夫は、高校で野球部に入っていた。投手である。二年生のとき、野球部のマネージャーであり彼女の松村松子と一緒に、西村西映画館へ行った。西村西映画館は西村市の西部にある。

「いい映画だったね。かつちゃん。松子、興奮したわ」

「そうかな。オレは物足りなかったぜ。つまんなかった。ところで、松子。寿司屋行こうぜ」

「やだ。イタリアンがいい」

「なにに。でぶ。逆らうな」

「なによ。はげ。うざいね」

二人はケンカした。殴る蹴るなどした。おかげで、別れてしまった。クリスマス・イブのことである。

その日は雪がしんと降っていた。この日、秋葉原で二度目の通り魔事件が起こってる。犯人はまたもや派遣労働者であった。

その影響か、啓一は、政府の要請を受け、非正規雇用対策会議に出席。

現在はあまりに非正規労働者の待遇が悪いので、政府も重い腰を上げたというわけだ。啓一は経営陣の立場から意見を求められた。

会議は、あまりに疲れた。なにしろ、非正規労働者は1700万人もいる。ナイスアイデアが出ない。啓一のギターはストレスが増すほど激しくなっていた。

啓一は、ある日、トラックにはねられ死んでしまった。酔っ払い運転である。

その日も雪がしんと降っていた。

それから、三ヶ月後、またもや、秋葉原で通り魔事件が起こってしまった。

「何で通り魔が多いのかな」

「わからない。なぜだろ」

「ひょっとして労働環境に問題が……」

啓一の葬儀に、達也が来ていたらしい。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0378z/>

---

殺伐ホームブルース（仮題）

2011年12月1日15時45分発行